

かわいらしいイラストが夜空に輝く 幸世交流会館でイルミネーション

12月3日、幸世交流会館でイルミネーションの点灯式が行われました。6年目となった今年は、「冬休みにやりたいこと」をテーマに、認定こども園さちよの園児や北小学校の児童が描いたイラストをイルミネーションで飾りました。

来場者の一人は「みんなの思いが詰まっていて、普通のイルミネーションとはまた違う魅力がある」と話しました。イルミネーションは令和5年1月6日まで点灯しています。



点灯されたイルミネーションを見上げる来場者

ふるさとの知識と小豆を積み上げて 黒井小で丹波大納言小豆の勉強会

11月17日、黒井小学校で3年生を対象に「丹波大納言小豆」の勉強会が開催されました。丹波大納言小豆ブランド戦略センターが丹波大納言小豆の魅力やふるさとの知識を身につけることを目的として開催したもので、小豆積み上げ大会などで盛り上がりしました。

会場で最高となる4粒を積んだ橋本樹君は「難しかったけれど、楽しかった」と誇らしげに話しました。



積み上げた大納言小豆を真剣に見つめる橋本樹くん

容器持参で「必要な分だけ」お買い物 ニードマーケットを初開催



持参した保存用袋に商品を入れてもらう来場者

11月19日、必要なものを必要な分だけ購入し、包装材などのごみを出さないことをめざす「ニード・マーケット」が初めて市立薬草薬樹公園で開催されました。会場には物販や飲食ブース、ワークショップなどが多数出店したほか、生ごみ処理機「キエーロ」の展示もありました。

来場者の一人は「エコを意識するいい機会になった。また、どんな買い物袋を持っていこうかなど、準備する楽しさもありました」と話しました。

恐竜ファンが丹波市に集結！ 丹波竜フェスタ 2022 を開催



シンポジウムで恐竜大使からの質問に答える林大智さん(右)

12月4日、丹波竜化石工房ちーたんの館周辺で、恐竜に関するシンポジウムやワークショップなどを行う「丹波竜フェスタ 2022」を開催しました。

シンポジウムでは徳島県勝浦町に「竜学」したことも恐竜大使の活動報告や恐竜YouTubeバーの林大智さんへの質問コーナーなどが行われました。

また、バルーンアートショーやちーたんの缶バッジをつくるワークショップには長蛇の列ができるほど盛り上がり、さまざまな恐竜アイテムを持った恐竜ファンで会場は賑わいを見せていました。